

12/28(土)

米、オスプレイ一部引き揚げ

鹿児島県・屋久島沖で米空軍の輸送機オスプレイが11月に墜落した事故で、米軍が海底に沈んでいる機体の一部を引き揚げた。機体は複数に分

かれているとみられ、引き揚げ作業は複数回にわたり見通し。作業が終われば、米軍は事故調査を本格化させるとみられ

たる見通し。作業が終わると、米軍は事故調査を本格化させるとみられ

は屋久島の東約1キロの海域。米軍は23日、引き揚げ作業の能力がある艦艇を派遣し、26日から作業

を本格化させた。政府関係者によると、機体の一部を26日に引き揚げ、27日も作業を続けた。作業

を1月まで続けるとの見通しを日本側に伝えてい

る。事故は11月29日に発生。米軍は乗員8人全員の死亡を認定した上で、行方が分からぬ1人の捜索を続けている。今月6日以降、オスプレイ全機種を地上待機としており、この措置は現在も続いている。

(成沢輝輔)



米軍のサルベージ船に引き揚げられたオスプレイの機体の一部とみられる物体。27日前11時35分、鹿児島県の屋久島沖、本社へりかわ、日高健一撮影